

平成 25 年度東南アジア研究所共同利用・共同研究拠点

「東南アジア研究の国際共同研究拠点」年次研究成果発表会 プログラム

(各演題、発表 8 分、質疑 2 分としてください)

日時：平成 26 年 3 月 14 日 (金)

会場：京都大学東南アジア研究所 稲盛財団記念館 3 階大会議室

9:30 開会 松林公蔵 (京都大学東南アジア研究所)
9:30 – 9:40 所長挨拶 清水展 (京都大学東南アジア研究所)
9:40 – 9:50 拠点の状況報告 松林公蔵 (京都大学東南アジア研究所)

セッション 1 司会 小林知 (京都大学東南アジア研究所)

9:50 – 10:00 継続課題 I-1 (代表：矢倉研二郎・阪南大学経済学部)

「タイを中心とした国際労働移動に関する研究－地域経済統合は何をもたらすのか？」

10:00 – 10:10 継続課題 I-2 (代表：泉川普・広島女学院大学国際教養学部)

「1930 年代から 50 年代におけるバタヴィア・ジャカルタの華人商業ネットワークに関する研究」

10:10 – 10:20 継続課題 II (代表：石井香世子・東洋英和女学院大学国際社会学部)

「弱者救済における地域観光の有効性に関する日タイ比較研究」

10:20 – 10:30 継続課題 III-1 (代表：岩月純一・東京大学大学院総合文化研究科)

「インドシナ戦争期北ベトナム逐次刊行資料保存・利用環境の整備」

10:30 – 10:40 継続課題 III-2 (代表：河野元子・政策研究大学院大学政策研究科)

「新たな植民地資料利用の展望：シンガポール、マレーシア国家の史的起源をめぐって」

10:40 – 10:55 質疑応答 (15 分)

セッション 2 司会 岡本正明 (京都大学東南アジア研究所)

10:55 – 11:05 継続課題 IV-1 (代表：佐藤史郎・大阪国際大学国際コミュニケーション学部)

(代理発表：佐藤孝宏・国際稲研究所 作物環境科学部門)

「生存基盤指数の再検討－持続型生存基盤パラダイムの国際的発信に向けて」

11:05 – 11:15 継続課題 IV-2 (代表：外山文子・京都大学東南アジア研究所)

(代理発表：岡本正明・京都大学東南アジア研究所)

「民主化における司法の役割：タイとインドネシアの比較」

11:15 – 11:25 継続課題 IV-3 (代表：矢野 正隆・東京大学大学院経済学研究科)

「東南アジア地域資料の長期的収集・利用に関する研究」

11:25 – 11:35 継続課題 IV-4 (代表：瀬戸裕之・名古屋大学大学院法学研究科)

「内陸部東南アジアの『被戦争社会』の変容とレジリエンス」

11:35 – 11:45 継続課題 IV-5 (代表：坂川直也・京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

(代理発表：日向伸介・京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

「21 世紀のタイ文化史－共同研究に向けた基盤形成」

11:45 – 12:00 質疑応答 (15 分)

12:00 – 13:00 昼食 (60 分)

セッション 3 司会 石川登 (京都大学東南アジア研究所)

13:00 – 13:10 継続課題 IV-6 (代表：生方史数・岡山大学大学院環境生命科学研究科)

(代理発表：渡辺一生・総合地球環境学研究所研究部)

「文理融合のメタ研究にむけて：持続型生存基盤研究における経験から」

13:10 – 13:20 継続課題 IV-7 (代表：内藤大輔・総合地球環境学研究所)

「東南アジアにおける社会・生態レジリエンスに関する地域間比較研究」

13:20 – 13:30 継続課題 IV-8 (代表：奥宮清人・京都大学東南アジア研究所)

「インドネシア・パプア州における神経難病の時代的な環境変化に伴う変遷」

13:30 – 13:40 終了課題 V (代表：高田洋子・敬愛大学国際学部)

「仏領期メコンデルタにおける大土地所有制の研究」

13:40 – 13:55 質疑応答 (15分)
13:55 – 14:10 コーヒーブレイク (15分)

セッション4

司会 安藤和雄 (京都大学東南アジア研究所)

14:10 – 14:20 終了課題 I-1 (代表: 横山智・名古屋大学大学院環境学研究科)
「メコン流域圏における農林水産物リソース・チェーンと土地利用変化の解明」

14:20 – 14:30 終了課題 I-2 (代表: 林憲吾・総合地球環境学研究所)
「居住区分類に基づいたジャカルタ大都市圏における建造環境の構造分析」

14:30 – 14:40 終了課題 II (代表: 柴山守・京都大学地域研究統合情報センター)
(代理発表: 小林知・京都大学東南アジア研究所)
「東西文化回廊研究 – ミャンマーからタイ・カンボジアを中心に –」

14:40 – 14:50 終了課題 III (代表: 植村泰夫・広島大学 名誉教授)
「植民地後期インドネシアの社会と経済に関する歴史資料の研究」

14:50 – 15:00 終了課題 IV-1 (代表: 津村宏臣・同志社大学文化情報学部)
(代理発表: 福原啓介、竹内俊貴・同志社大学文化遺産情報科学研究センター)
「文化遺産情報のシステム化とオントロジー構造による Local Knowledge の理解」

15:00 – 15:10 終了課題 IV-2 (代表: 岡本郁子・日本貿易振興機構アジア経済研究所)
「ミャンマー経済発展のためのロードマップと政策に関する研究」

15:10 – 15:20 終了課題 IV-5 (代表: 安藤和雄・京都大学東南アジア研究所)
「アジアの棚田稲作における持続的農法と棚田保全に関する研究」

15:20 – 15:35 質疑応答 (15分)
15:35 – 15:50 コーヒーブレイク (15分)

セッション5

司会 伊藤雅之 (京都大学東南アジア研究所)

15:50 – 16:00 終了課題 IV-4 (代表: 嶋村鉄也・愛媛大学農学部)
「ムラピ山における大規模噴火後の景観復興過程」

16:00 – 16:10 終了課題 IV-3 代表: 鈴木玲治・京都学園大学バイオ環境学部)
「日本の焼畑に受け継がれてきた在来知の現代的意義 – 東南アジアとの比較視座からの検討 –」

16:10 – 16:20 終了課題 IV-6 (代表: 杉原薫・政策研究大学院大学)
「東南アジア交易史における『長期の19世紀』」

16:20 – 16:30 終了課題 IV-7 (代表: 吉川みな子・京都大学学際融合教育研究推進センター)
(共同発表者: Rita Kusriastuti・世界保健機関南東アジア地域事務局)
「都市・観光地における感染症の流行の情報発信方法に関する研究
– インドネシアの都市と観光地域における予防強化をめざして –」

16:30 – 16:40 終了課題 IV-8 (代表: 松野明久・大阪大学大学院国際公共政策研究科)
「東南アジアにおける戦争の記憶と戦後和解をめぐる環境の再構築」

16:40 – 16:50 終了課題 IV-9 (代表: 金子 芳樹・獨協大学 外国語学部)
(代理発表: 山本博之・京都大学地域研究統合情報センター)
「教育・研究交流を通じた東アジアにおける産官学ネットワークの社会的影響の評価
– 東方政策の30年を振り返って –」

16:50 – 17:00 終了課題 IV-10 (代表: 平田 昌弘・帯広畜産大学 畜産学部)
「乳利用の有無からの牧畜論再考 – 旧・新大陸の対比」

17:00 – 17:15 終了課題 質疑応答・討論 (15分)

17:15 – 17:30 コーヒーブレイク (15分)

17:30 – 18:30 総合ディスカッション (60分)

速水洋子 (司会)、片山裕、横山智、甲山治、高田洋子、西芳実

18:40 – 懇親会 京都大学東南アジア研究所 稲盛記念館中会議室、会費: 3000円